

衆議院 第十回国会 議院運営委員会議録 第一十八号

(四六八)

昭和二十六年三月二十日(火曜日)
午後零時十二分開議

出席委員

委員長 小澤佐重喜君
理事寺本 麟君 球事福永 健司君

岡延右門君

菅家 喜六君

島田 未信君

塚原 俊郎君

椎熊 三郎君

土井 直作君

竹村奈良一君

中川 俊思君

園田 直君

松井 政吉君

委員外の出席者

議長 林 讓治君

副議長 岩本 信行君

議員 梨木作次郎君

事務総長 大池 真君

本日の会議に付した事件

地方税法の一部を改正する法律案の修正につき承諾を求める件

公正取引委員会委員任命につき同意

を求める件

衆議院法務局職員定員規程中改正の件

国会議員の歳賃、旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案の起草並びに取扱いに関する件

国会閉会中委員会が審査を行う場合の委員の審査難費に関する法律案の起草並びに取扱いに関する件

本日の本会議の議事に関する件

○小澤委員長 これより本日の運営委員会を開きます。

まず最初に、地方税法の一部を改正する法律案の修正が政府から出ておりますので、これに承諾を与える件を議題に供します。内容は事務総長から御説明申し上げます。

○大池事務総長 地方税法の一部改正法律案が今地方委員会にかかつておりますが、それに対し政府の方から修正を申し入れて参りましたので、これを院議で御承認を願いたい、こういうことがあります。政府から申し出た修正の案文をお手元に配付いたさせます。が、ごく簡単な誤植が二箇所ござりますので、その点はあとから申し上げます。政府から提案になりました修正の全部のものは非常に多いようですが、お手元に配付のものには、特に法律案中修正に関する要綱といたしまして、修正される点だけを書き抜いてございますから、それによつて御了承願いたいと存します。

一応御説明申し上げますと、本院の方に地方税法の一部改正法律案が正式のオーケーをとつて提案された後に、国税徴収法の一部改正法律案が提案されて参つたのであります。従いまして、国税徴収法一部改正法律案が閣議決定になります前に、地方税法の一部改正法律案が出ておりましたので、こちらの方では地方関係の委員会に付託をしておつたのですが、この国税と地方税との徴収方法はまったく連してありますから、できるだけこの取扱いを同一にしたいといふのが目的

でございまして、あとから出来ました国税徴収法の一部改正法律案に盛られた内容とほぼ同様のものを、地方税法の中に入れたいという意味で、修正を申し込んで来たのであります。その修正につきましては、國税の徴収の関係で、こういうようにお願ひしたいといふことが、そこに書いてある点でござります。これにはいろいろあるようですが、要するに滞納をするときま

すが、それに対する懲罰を設けては、同族会社等をつづけてその方に向けてしまつて、早くいえば脱税的なことをするようなものを防ぐという意味で、修正のところに、滞納をいたしました。その所有する同族会社の株式または出資が換価ができる、かつ滞納者たる他の財産について滞納処分をしても徴収ができないような場合がありますが、お手元に配付のものには、特に法律案中修正に関する要綱といたしまして、修正される点だけを書き抜いてございますから、それによつて御了承願いたいと存します。

一応御説明申し上げますと、本院の方に地方税法の一部改正法律案が正式のオーケーをとつて提案された後に、国税徴収法の一部改正法律案が提案され、それで参つたのであります。従いまして、国税徴収法一部改正法律案が閣議決定になります前に、地方税法の一部改正法律案が出ておりましたので、こちらの方では地方関係の委員会に付託をしておつたのですが、この国税と地方税との徴収方法はまったく連してありますから、できるだけこの取扱いを同一にしたいといふのが目的

いろな言葉で書いてございますが、目的にはそういうことになつております。

いま一点は、納税者の方で納税管理人を設けないで、住所あるいは居所、事務所、事業所または業務所を有しない

ことは、繰上げ徴収をすることができることになつてゐるのが第三点の修正でございます。

第四といたしましては、銀行預金の利子等にかかる所得税で、源泉選択をしたものについては、市町村民税を課さないことになつてゐるのが第四点であります。

最後の第五点は、納稅義務者に徴収猶予の制度を設けてござります。それは罹災とか盜難等、事業上の一大損失がありましたとき、地方団体が課税権を行使します日から一年以上たつて

地方税を課されたために、一時に納税することが非常に困難になつた、こういう二つの場合を予想して、申請に基づいて一年以内において徴収を猶予すること

以上の五点が國税徴収法の方にござりますので、地方税の方も、それと同様の取扱いをいたしたいという申しおよによる修正でござります。

○小澤委員長 何か御質問がござりますか。

○佐々木(秀)委員 土井さんの言う、党の態度が急にきまらぬということ

は、一応こもつともなんだけれども、これはどちらでもやつていただきなければなりません。

○佐々木(秀)委員 土井さんのお話、それは、留保としておいてください。

○小澤委員長 これは、委員会で修正して来るということではおかしいのですか。

○土井委員 一応相談いたしますから、留保としておいてください。

○小澤委員長 それでは、社会党は場内で御返答いただくということにしておきましよう。

○小澤委員長 それでは、社会党は場内で御返答いただくということにしておきましよう。

します。

○竹村委員 我が党も場内ということにしておきます。

○小選委員長 それでは社会党、共産党を除いては御異議がないようでございますから、これは後刻場内でということにいたします。

○大池事務総長 そこで、お手元に差上げてあります内閣から承認を求めて参りました印刷物に、「箇所簡単な誤植がありますからお直し願います。四ページの五行目に、「同族会社がその様式」とあります、これは「株式」の間違いでございます。それから次に六ページの終りから三行目に、「政令で定めるもの当該納税者」とあります

が、「定めるもの」のあとに、「又は」を入れて、「又は当該納税者」となります。

○小選委員長 次に公取引委員会委員任命につきまして本院の同意を求める件を議題に供します。これは民主党だけの問題で、社会党は御異議がなかつたようでございますが……。

○土井委員 私の方はさしつかえございません。

○大池事務総長 これは北澤新次郎さん、湯地謹爾さんの問題でございます。

○椎葉委員 私の方もよろしくござります。

○小選委員長 それではそのように決定いたします。

○土井委員 これはきようやるわけでですね。

○小選委員長 さようでございます。

旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案が本委員会で審議されたりましたが、オーケーが申し上げたので、あらためて御報告を申し上げて御了解を得たいと思います。

○大池事務総長 これは当委員会で御承認を得て具体的にきまつておりますたが、通信手当を、従来の千円を四月から三千円にお願いしようというのと、閉会中に委員会を開きまして出て参りましたときの審査手当、これが從来七百五十円になつておつたのであります。それが算に盛られて、予算是本院を通過しておりませんので、この七百五十円を千五百円に上げる。これがきまつておつたのであります。従いましてそれだけの点を、法律の方を直さなければならぬことになつておりますが、予算が通過するまで、それを遠慮しておつたのであります。従いましてそれだけの点を、法律の方を直さなければならぬことになつておつたのであります。それから法制局の方は二十人増員になつておりますが、ここにございますように、事が二十四人のところ、三十二人でありますから八人、それから主事の方は二十人を二十六人に、合計十四人ふえます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○土井委員 法制局は特別の人員になります。衆議院としてあるのではなくておられます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○大池事務総長 申し各党でお話合いができますたら、政府からの地方税法の修正の承認、これを一番最初にお願いいたしまして、次に、日程第一の農業委員会法案と、次の施行に伴う関係法、この一、二が千賀康治君の報告で、一括上程であります。これには反対討論者が二人申込みがあります。八百板正君、それから賛成討論がその次に入りまして金子與重郎君でござります。

○佐々木(秀)委員 私の方は保留しておきます。

○大池事務総長 それから反対が共産党の横田基太郎君。

○椎葉委員 これは反対、賛成一名です。

○佐々木(秀)委員 そうしてあらいま

けでございます。主事は四百五人が四百二十人と、十五人ふえます。それだけでございます。

○椎葉委員 第二議員会館の方だけに十五人いるのですか。

○大池事務総長 それだけではございません。それ以外に、どうしても主事に上げなければならないような人もあります。従つてだんづまわつてその方に行くわけでございます。それから速記の養成所から本年度出て参りますので、これを主事にしようという、そういうものを見込んでおります。

それから法制局の方は二十人増員になつておりますが、ここにございますように、事が二十四人のところ、三十二人でありますから八人、それから主事の方は二十人を二十六人に、合計十四人ふえます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○小選委員長 さらに緊急上程の法案が二、三あるようでございますから、これについて事務総長から御報告を願います。

○大池事務総長 本日緊急上程をお願い申上げたいというのに、通産委員会からの中小企業等協同組合法の一部改正、それから電気通信委員会の方に行くわけでございます。それから速記の養成所から本年度出て参りますので、これを主事にしようという、そういうものを見込んでおります。

それから法制局の方は二十人増員になつておりますが、ここにございますように、事が二十四人のところ、三十二人でありますから八人、それから主事の方は二十人を二十六人に、合計十四人ふえます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○土井委員 法制局は特別の人員になります。衆議院としてあるのではなくておられます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○大池事務総長 もし各党でお話合いができますたら、政府からの地方税法の修正の承認、これを一番最初にお願いいたしまして、次に、日程第一の農業委員会法案と、次の施行に伴う関係法、この一、二が千賀康治君の報告で、一括上程であります。これには反対討論者が二人申込みがあります。八百板正君、それから賛成討論がその次に入りまして金子與重郎君でござります。

○佐々木(秀)委員 私の方は保留しておきます。

○大池事務総長 それから反対が共産党の横田基太郎君。

○椎葉委員 これは反対、賛成一名です。

○佐々木(秀)委員 そうしてあらいま

すから、決定いたします。

○小選委員長 さらに緊急上程の法案が二、三あるようでございますから、これについて事務総長から御報告を願います。

○大池事務総長 それでは、きょう本会議開会中にこれが上りますれば、上程の二つがございます。

○小選委員長 それでは、きょう本会議開会中にこれが上りますれば、上程の二つがございます。

○大池事務総長 本日緊急上程をお願い申上げたいといいうのに、通産委員会からの中小企業等協同組合法の一部改正、それから電気通信委員会の方に行くわけでございます。それから速記の養成所から本年度出て参りますので、これを主事にしようという、そういうものを見込んでおります。

それから法制局の方は二十人増員になつておりますが、ここにございますように、事が二十四人のところ、三十二人でありますから八人、それから主事の方は二十人を二十六人に、合計十四人ふえます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○土井委員 法制局は特別の人員になります。衆議院としてあるのではなくておられます。あと六人くらいは主事補以下のものを採用する、こういうのであります。

○大池事務総長 もし各党でお話合いができますたら、政府からの地方税法の修正の承認、これを一番最初にお願いいたしまして、次に、日程第一の農業委員会法案と、次の施行に伴う関係法、この一、二が千賀康治君の報告で、一括上程であります。これには反対討論者が二人申込みがあります。八百板正君、それから賛成討論がその次に入りまして金子與重郎君でござります。

○佐々木(秀)委員 私の方は保留しておきます。

○大池事務総長 それから反対が共産党の横田基太郎君。

○椎葉委員 これは反対、賛成一名です。

○佐々木(秀)委員 そうしてあらいま

党の立場で違いますから、これはぜひ許してもらいたい。非常に重要な法案ですから……。

○椎葉委員 重要なだから、ほくらの方も特に賛成するわけです。第一党を遠慮させて、野党たるわれくが特に賛成するゆえんはここにあるわけだ。反対の理由は同じなんでしょう。

○竹村委員 反対の理由は一緒だと言えますが、共産党は別の見地から反対なのです。

○梨木作次郎君 これは重要な法案であります。やはり各党それべく反対の理由が違うのですから、ぜひともやらしてもらいたい。

○小選委員長 それでは十分以内といふことで……。

○土井委員 大体十五分でいいでしょう。

○小選委員長 それでは十分内外といふことにしておきましょう。十分内外というのは大体八分から十二、三分という意味です。

○大池事務総長 これはもちろん起立採決でございます。日程第三、これは経済安定委員長園司さんの報告でござります。これは共産党が欠席しておられました、全会一致になつておりますたが、共産党が反対だそうでございまして、大蔵委員長夏姫さんの御報告、これも共産党が反対でございまして、起立採決、そこで、あとただいま申上げました中小企業等協同組合の改正法と電気電話料金法の一部改正、これを緊急上程して、なおもし厚生委員会から精神衛生法、予防接種法、これは多分きよろ間に合わないと思いますが、もし上りましたら……。

○竹村委員 この際お伺いいたしたいのですが、私の方から出して、前会から保留になつておりますところの決議案、これは本日御上程くださいるよう特にお願いいたします。

○小澤委員長

きょうは大体簡単にやるという趣旨でござりますから、この次に適当な機会を見で……。

○佐々木(秀)委員 これはあなたに相談するのですが、あなたの方の懇意が二十日というのを、われわれの方は延ばしているのだから、そこらも——これは取引ではないが、考えていただきたいですね。

○製本作次郎君

それから共産党非合

法化に関する緊急質問が出ておりますが、これも取上げてもらいたい。

○竹村委員 これはやはり本日やつた方がいいと思います。

○小澤委員長 共産党にお願いしますが、先般來問題になつて、野党の委員が所の裁判員の問題です。わが党から委員が出ていないために、向うで委員長の互選か何かやるのを、野党の委員が出ていないのに選舉するのはいかぬというので、延ばしたということです。ですから、田中君が目下旅行中で辞表が出来ないというが、これは電報か何か打でませんでしょうか。

○佐々木(秀)委員 これはさつそく手続いたります。

○小澤委員長 それでは開会時間は定期でよろしくどうぞいますか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小澤委員長 それではそのように決

定いたします。
本日はこれで散会いたしま。

午後零時四十分散会

〔参考〕

国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案

国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案

国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律(昭和二十二年法律第八十号)の一部を次のように改正する。

第九條中「千円」を「三千円」に改める。

附 則

この法律は、昭和二十六年四月一日から施行する。

国会閉会中委員会が審査を行う場合の委員の審査雜費に関する法律案

国会閉会中委員会が審査を行いう法律案

国会閉会中委員会が審査を行いう場合の委員の審査雜費に関する法律案

附 則

この法律は、昭和二十六年四月一日から施行する。

国会閉会中委員会が審査を行いう場合の委員の審査雜費に関する法律案

附 則

この法律は、昭和二十六年四月一日から施行する。

〔参考〕

衆議院事務局職員定員規程中改正案

正

衆議院事務局職員定員規程の一部を次のよう改定する。

第一条中「参事 専任 百六十人」を「参事 専任 百六十人」に、「主事 専任 四百五人」を「主事 専任 四百二十人」に改め。

第二条を次のよう改める。

前条の職員の外、臨時官給に関する事務に従事させるため、参事専任二人及び主事専任七人を、国会閉会中警務に従事させるため、主事専任三十人を置く。

附 則

この規程は、昭和二十六年四月一日から施行する。但し第一条の改正規定のうち参事及び主事各一人の増置に関するものは、昭和二十六年七月一日から施行する。

附 則

この規程は、昭和二十六年四月一日から施行する。但し第一条の改正規定のうち参事及び主事各一人の増置に関するものは、昭和二十六年七月一日から施行する。

衆議院法制局職員定員規程中改正案

正

衆議院法制局職員定員規程の一部を次のよう改定する。

本則中「参事 専任 二十四人」を「参事 専任 三十一人」に「主事 専任 二十人」を「主事 専任 二十六人」に改める。

附 則

この法律は、昭和二十六年七月一日から施行する。

〔参考〕

昭和二十六年三月十九日印刷

昭和二十六年三月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷所